

# 7月12日（火）思いやり

きのう 3年生が<sup>どうとく</sup>道徳で「<sup>おも</sup>思いやり」  
について<sup>べんきょう</sup>勉強しました。

主人公は、大雨で生活も困ってし  
まった村の子に、本をあげることに  
しました。きれいな本は、自分の一番

大事<sup>だいじ</sup>にしている本<sup>ほん</sup>です。あとは、汚<sup>よご</sup>れているのです。主人公<sup>しゅじんこう</sup>  
は悩<sup>なや</sup>みます。汚<sup>よご</sup>れた本<sup>ほん</sup>をあげるか、一番大事<sup>いちばんだいじ</sup>な本<sup>ほん</sup>をあげるか。

皆さんは、主人公<sup>しゅじんこう</sup>の気持ち<sup>きもち</sup>が分<sup>わ</sup>かりますか。

この話<sup>はなし</sup>の主人公<sup>しゅじんこう</sup>は、一番大事<sup>いちばんだいじ</sup>な本<sup>ほん</sup>をあげることにします。  
すると、お礼<sup>れい</sup>の手紙<sup>てがみ</sup>が届<sup>とど</sup>くのです。もちろん主人公<sup>しゅじんこう</sup>は  
喜<sup>よろこ</sup>びます。その手紙<sup>てがみ</sup>をなんべんも読<sup>よ</sup>み返<sup>かえ</sup>して、手紙<sup>てがみ</sup>を書<sup>か</sup>いて  
くれた子<sup>こ</sup>に返<sup>へんじ</sup>事<sup>だ</sup>を出すのです。

3年生の子は、次のような感想<sup>かんそう</sup>を持<sup>も</sup>ちました。

「良<sup>よ</sup>いことをすると、良<sup>よ</sup>い気<sup>き</sup>分<sup>ぶん</sup>になることが分<sup>わ</sup>かった」

「大事<sup>だいじ</sup>なものをあげると、も<sup>ひと</sup>らった人<sup>ひと</sup>も大事<sup>だいじ</sup>にし<sup>て</sup>くれる」

「優<sup>やさ</sup>しさと勇<sup>ゆう</sup>気<sup>き</sup>を持<sup>も</sup>つことが大事<sup>だいじ</sup>だと思<sup>おも</sup>った」

「助<sup>たす</sup>けてあげようという気<sup>き</sup>持<sup>も</sup>ちが大事<sup>だいじ</sup>だと思<sup>おも</sup>った」

とてもいい勉強<sup>べんきょう</sup>をしましたね。

村越 新

